

関係各位の皆さま

「おだわら学習帳」「おだわらぬりえ」
令和3年 市内学校無償配布ご協賛のお願い

謹啓 時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

さて、私たちは平成28年より地域の未来を担う地元の子どもたちに、日頃から郷土の歴史・文化・産業を知って親しんでもらい、より地域に愛着をもって健やかに成長していただくことを目的に「おだわら学習帳」「おだらぬりえ」を地元の有志の方々のご協力のもと製作頒布しています。

これは元々報徳二宮神社が七五三参拝者向けに作成しているものですが、一昨年からは主催を小田原報徳社（報徳二宮神社崇敬会）とし、企画管理を私たち発起人が務めながら、更にこの趣旨にご賛同いただける企業・団体・個人様を募り、毎年9月に小田原市教育委員会様を通じ、市内の小学校・幼稚園へ無償配布しております。おかげ様で昨年は小田原市内の全ての小学生（1～6年）へ学習帳を約9000冊・低学年生と幼稚園生へはぬりえを約2800冊贈呈することができました。

詳細は別紙の通りでございますが、現在コロナウィルスの影響で各事業様におかれましても大変な状況かと存じますが、地元の皆さまに報徳思想という推譲の精神をもってご協賛いただき、ひとりでも多くの生徒さんへ配布できればと思っておりますので、本年も是非ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

白

謹

令和3年6月吉日

おだわら学習帳配布実行委員会

発起人

報徳二宮神社

宮 司 草山 明久

ほうとくエネルギー株式会社

代表取締役 藁宮 武夫

株式会社 ういろう

代表取締役 外郎 藤右衛門

FM小田原株式会社

代表取締役 鈴木 伸幸

「おだわら学習帳」「おだわらぬりえ」市内小学校無償配布 詳細

- [配布物] ①おだわら学習帳 ②おだわらぬりえ
- [配布目標] ①おだわら学習帳 9,000 冊 (6 学年分) ②おだわらぬりえ 2,800 冊 (低学年・幼稚園)
注*募金総額に応じて配布冊数と学年数は増減します
- [配布方法] 市内小学校および幼稚園へ直送
- [配布時期] 令和 3 年 9 月頃
- [主催] 小田原報徳社 (報徳二宮神社崇敬会)
- [企画管理] おだわら学習帳配布実行委員会 (*は事務局会計担当・◎は会計監査役)
発起人 草山 明久 (報徳二宮神社 宮司) *
 蓑宮 武夫 (有限会社みのさんファーム 代表取締役) ◎
 外郎 藤右衛門 (株式会社ういろう 代表取締役) ◎
 鈴木 伸幸 (FM 小田原株式会社 代表取締役) ◎
- [会計管理] 今企画専用口座を開設。報徳二宮神社を事務局とする「おだわら学習帳配布実行委員会」を設置し委員会での監査のもと配布後報告書を作成し、決算報告を含め寄付者へ郵送通知いたします。残金は繰越金として翌年贈呈分として使用します。
- [事業報告] 配布完了後に収支報告書を協賛社へ送付いたします。
- [募集金額] 1 口 1 万円 ●法人団体様は 2 口以上 ●個人 1 口以上
○寄付者のお名前 (法人団体名) は各ノート裏面に順不同にて記載されます。
- この企画にあたり寄付金管理を銀行専用口座にて管理したい為、本会の名称を「おだわら学習帳配布実行委員会」とし、併せて規約を作成します。規約は別紙参照ください。
- [口座名称] おだわら学習帳配布実行委員会 会計 草山 明久
- [口座] さがみ信用金庫 本店 (店番 0 0 1) 普通 2 1 0 0 9 3 0
- [申込期限] 令和 3 年 7 月 25 日 (水) 必着

お 申 込 書

以下ご記入の上 FAX 0465-23-3286 までご送信ください

寄付者名	フリガナ 団体名		
	フリガナ 氏名		
寄付金額	1 口 1 万円 口 円 ※団体は 2 口より承ります。		
ノート裏面 記載名	寄付者名と異なる場合はご記入ください。団体の場合は、団体名を記載します。		
ご連絡先	ご住所		
	〒	—	お電話番号 ()

上記の通り、おだわら学習帳配布実行委員会へ申し込みます。

おだわら学習帳配布実行委員会 定款

(名 称)

第1条 本会は、おだわら学習帳配布実行委員会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、事務局を報徳二宮神社内に置くものとする。

(目 的)

第3条 本会は、小田原の次世代を担う子供たちが、郷土への愛情と誇りを持ってもらえるよう、地域の歴史や文化・産業など、地域の魅力を伝える活動を行うことを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、以下の事業を行う。

1. 小田原学習帳の配布(小田原市教育委員会を通じ、市内小学生へ配布)
2. おだわらぬりえの配布(小田原市教育委員会を通じ、市内小学生へ配布)
3. その他これに準ずる活動

(会 員)

第5条 本会は、この趣旨に賛同する発起人と協賛者(寄付者)をもって会員とする。

(会計・決算)

第5条 ①本会の資産の管理と会計業務は、報徳二宮神社 事務局が行う。

②会計業務にあたっては、本会専用口座(さがみ信用金庫本店)を設け管理する。

③会計年度は毎年4月1日に始まり、3月末日に終わる。

④会計業務においては、発起人より監査役を設け、審査を受ける。

⑤各年度の残金は、全て繰越金として口座で管理し、次年度制作費に充当する。

(報 告)

第6条 本会の事業報告ならびに決算報告は、毎年事業1.2が完了した翌月末までに、発起人および寄付者に対して書面にて報告するものとする。特別な必要性等がない限り、総会等は開催しない。

(解 散)

第7条 万一、本会を解散する場合、口座残金は全て小田原市に寄付するものとする。

(その他)

第7条 前条までの条項に当てはまらない条項については発起人相互が誠意をもって対処し決定するものとする。

【参考資料】令和2年度実績

■協賛社数：36社（法人・団体・個人） ■協賛額：119万円

■製作贈呈冊数：11,800冊（学習帳 9,000冊：1～6年生 むりえ 2,800冊：4歳児・1年生）

令和2年 鴨宮幼稚園での配布の様子



足柄小学校での配布の様子



デザイン ・ むりえ ・ 学習帳ともに協賛社名が入ります（記載社名は過去の協賛社）

かなほうとくくん

1. さんごの ろのちで いきてい
せんせの ろのちで いきてい
あやの ろのちで いきてい
しきんに ろのちで つたえよう
いのかを しっかり つたえよう
2. さんごの ろのちで くらして
せんせの ろのちで くらして
あやの ろのちで くらして
しきんに ろのちで つたえよう
いのかを しっかり つたえよう
3. さんごの ろのちで いきてい
せんせの ろのちで いきてい
あやの ろのちで いきてい
しきんに ろのちで くらして
あやの ろのちで くらして
せんせの ろのちで くらして
あやの ろのちで くらして
しきんに ろのちで つたえよう
いのかを しっかり つたえよう
4. さんごの ろのちで いきてい
せんせの ろのちで いきてい
あやの ろのちで いきてい
しきんに ろのちで くらして
あやの ろのちで くらして
せんせの ろのちで くらして
あやの ろのちで くらして
しきんに ろのちで つたえよう
いのかを しっかり つたえよう

おだわら学習帳・むりえ配布
実行委員会

この冊子は、小田原の未来を担う子どもたちに、地域の歴史・観光・文化・産業などを、小田原のことをもっと知ってもらい、「おだわらが大好きな人」になってもらうことを願い、協賛者の協賛で作成し、無料配布しているものです。

協賛社名

【令和2年度 協賛名簿】

株式会社アプラス
伊藤屋
株式会社ういろう
株式会社エーエ
株式会社エースアルシー
FAM小田原株式会社
株式会社行動圏総合サービス
一般社団法人 小田原市産業協会
新藤主人塾の会 小田原駅前緑園ウリニッコ
中島アリエック
株式会社中田百貨店
三日月商事
ニの五穀商事
渥野電力株式会社
株式会社神野印刷
株式会社まぼく株式会社
有限会社藤田商店
有限会社たも事務所
江川商店・江川
株式会社新藤とエムアプラス
株式会社新藤リミテド
有限会社内藤工務店
新田建設株式会社 小田原支店
七太郎アズミ・アットエース会社
あふとくふあふとく株式会社
有限会社おだわらアール
オオダワラ株式会社
おだわらロータリー

江川 第一
美田 五郎
田中 康
平井 正光

小田原商社
有限二葉社
有限北田株式会社
株式会社新藤印刷
有限二葉社 取締役人

（印刷発行）有限二葉社 | 編集長 堀

歴史あるまち、小田原

① 大森時代
 小田原城の前身は、小田原時代に西相模一帯を支配していた大森氏が、現在の県立小田原高等学校付近の小田原(八幡山)に築いた山城でした。

② 小田原北条時代
 十五世紀末になると北条早雲が小田原に拠出し、それから北条氏が五代、約100年にわたって勢力を拡大し、関東一円を治めていました。当時の小田原城は籠城といふ言葉が口づかぬほど堅固で、土間に築かれ、日影の城郭であったのです。しかし、天正十八年(1590年)、豊臣秀吉により北条氏は滅び、戦国時代が終焉を迎えました。

おだわらの歴史のおはなし

中城の大改修を経てリニューアルした小田原城天守閣 (2016年)

③ 北条氏滅亡後
 正徳時代になると大久保氏が城主となり、その後、大久保氏の改修とともに、城は城跡として再整備され、城の姿は一掃され、城郭として再整備され、城の姿は一掃されました。貞享三年(一六八六)に再び大久保氏が城主となり、小田原城は東海道の宿務問所を控えた関東地方の防衛の要として暮れを迎えます。

④ 慶応後
 明治時代になると小田原城は廃墟となり、多くの建物は解体されました。明治11年には御用邸が建てられました。正十二年(一九二三年)の開東大賞り御用邸のほか石垣もほぼ全壊し、代々の姿は失われてしまいました。多くの人たちの努力により昭和二十一年(一九四〇年)に、城域以来九十餘年の歴史を再興させ、その後、雲龍馬出門が再建・復元されました。また平成の大改修を経て、新しいシンボルとして、その美しさを誇っています。

匠 小田原の特産品

◆ かまぼこ・ひもの
 箱根産の魚に基いた小田原では、かまぼこや江戸時代から盛んに行われていた小田原は東海道の宿務問所として大変栄えりましたが、当時は交通が不便で箱根で食す魚に欠けていました。そこで、箱根の魚を箱根では魚類を加工したかまぼこを食糧にそそぎました。これが東海道を行き交う人々の口伝まで全国に広がったのです。また、同じく江戸時代には魚の干物の副産物として、魚の味をまじらせた箱根産の魚の干物が特長の子物づくりも発達しました。

◆ 小田原ちようちん
 小田原提灯は普通の提灯と違い、中骨がリング状に独立しているため曇りこぼれが起きず、持ち運びが容易です。また、薪木を使っていたことから、箱根越えのお守りとして旅人の必需品でした。

◆ 錆物
 戦国時代、北条氏の庇護のもと、錆物業が盛んになりました。現在では威鈴や鈴などの鳴り物や、御鈴などの仏具が主で、その昔の響きは高い評価を得ています。

◆ 和菓子
 戦国時代の北条氏、江戸時代の城主・大久保氏が茶の湯を好んだことから、優れた菓子職人が集まり、季節を映す美しい芸術品ともいうべき和菓子の文化が生まれました。

◆ ういろう
 外郎家は五百年以上前、北条早雲に招かれ小田原にきました。室町時代から二十五代にわたって、お菓子と薬を作り続け、名前をかろうぢらち(ういろう)として親しまれています。薬は三百年前江戸時代、歌舞伎役者の二代目市川團十郎の病を治したことから、「外郎薬」というお芝居になりました。外郎家は地域の健康と伝統を守り続けています。

◆ 梅干
 小田原の梅干が盛んなのは、戦国時代に北条早雲が梅干づくりを奨励した頃からです。江戸時代は箱根越えの旅人たちが梅干を携帯するようになり、小田原梅干の名産として全国に知られるようになりました。

おだわらの特産品のおはなし

おだわらぬりえ頁抜粋

おだわらぬりえ

おだわらだいすき!

おだわらのことをもっとしろう!

小田屋のチカラ

おだわら学園編・ぬりえ配布実行委員会

このぬりえは、小田屋の東家をおう手正もたしに、地域の自然・歴史・文化・産業など、小田屋のことをもっと知ってもらい「おだわらが大好きな人」になってもらうことを願い、愛読者の親戚で制作し配布利用しているものです。

【今回1年度 協賛名簿】

（協賛：団体）

- 株式会社アルファ
- 株式会社興隆
- 株式会社ひろがる
- 株式会社の上野実業
- 株式会社エフ・ムラー
- 株式会社入 企業庁
- F&M 小田屋株式会社
- OHCO小田屋株式会社グループ
- 一般社団法人小田屋産業振興会
- 株式会社小田屋百貨店
- 株式会社五神建設
- 資産法人会中部 小田屋リビエ
- リビエ不動産
- 株式会社小田屋ビル
- 株式会社小田屋ビルディング
- エフイーエフエフ

（協賛：個人）

- 竹山林業株式会社
- 山形商議（〒980-8147）
- 有限責任南船工業店
- リバーエフエス ネット株式会社
- ユートン小田屋リゾートビル
- ほうていエステリアルキー株式会社
- 有限会社みのでんファーム
- 吉田実業
- 株式会社ラ・エッセ
- 有限会社
- 有限会社製種達人舎
- 株式会社牧野製菓
- 株式会社牧野製菓

（協力：個人）

- 吉川孝嗣

（監修制作）有限会社 有限出版

